

AICHI
PREFECTURAL
MUSEUM
OF
ART

MEMBERSHIP

愛知県美術館友の会・会報 第31号

空中回廊

この展覧会は県美のエッセンス満載[美の精髓] / 会員のひろば / 講座ダイジェスト[渡辺華山の絵画と生涯][現代の表現] / 愛知県美術館コレクションから[カンディンスキー《鏡》] / 愛知県美術館より / 友の会活動紹介



ヴァシリー・カンディンスキー 《鏡》1907年

この展覧会は県美のエッセンス満載

美の精髓 愛知県美術館の名品300

名品を系統的に味わえる至高の展覧会

2010年11月26日(金) から 2011年1月23日(日) まで開催

愛知県美術館は、現在の場所に1992年10月にリニューアルオープンしました。1998年には5周年記念展として『近代美術の100年 愛知県美術館コレクションの精華』が当時3000点を超えるコレクションの中から厳選して開催されました。

リニューアルオープンする美術館のための蒐集は、開館以前の1988年から始められていました。今回行われる『美の精髓 愛知県美術館の名品300』展は、それ以降これまでに蒐集してきた作品を中心に展示される、いわば愛知県美術館のコレクションの集大成と言えます。



高橋由一《不忍池》1880年頃

現在、愛知県美術館には、木村定三コレクション3000点余りを含む約7600点のコレクションがあります。古代から20世紀までを網羅する木村コレクションを始めとして、今まで愛知県美術館が力を入れて蒐集してきた日本や世界の20世紀の美術、そして現代の作家たちの作品へと繋げながら、時の流れに沿いつつ、地域や時代の広がりをもった展示になるよう企画されています。

愛知県美術館が世界に誇る作品たちによって、古いものから新しいものへと美術の変遷が見られることはとても楽しみです。また、展示するのがとても困難な、重量のある作品もいくつか展示される予定です。そこでは非日常的な感覚を味わえるかもしれませんし、どうやってここに運んだのだろうと、純粹にいろいろ想像を巡らしてもきっと楽しいことでしょう。

県美コレクションに触れる

この展覧会に出展される予定のグスタフ・クリムトの《人生は戦いなり》はご存じの方も多はず。この作品は、貸出先のブダペスト美術館からこの名品展のために帰ってきまず(愛知県美術館のブログ2010年9月29日参照)。騎乗した戦士の姿を1メートル四方の画面いっぱいに堂々ととらえた構図に



ジョルジユ・ミンヌ《聖遺物箱を担ぐ少年》1897年は、クリムトの揺るぎない意志が込められているようです。色とりどりの草花が咲く道には金箔が縁取られ、聖なる道を暗示しています。いい作品は、人を感動させ、精神に滋養を与えるということを



グスタフ・クリムト《人生は戦いなり(黄金の騎士)》1903年

実感できること
でしょう。

また、ピカソ
の《青い肩掛け
の女》も多くの
方がご存じかと
思います。これ
は有名な『青の
時代』の作品で
すが、このころ
制作された作品



竹内栖鳳《狐狸図》左隻 1908年頃

の数が少なく、日本でも数点という貴重なものだ
そうです。ただ残念ながら、この作品はスイスの
チューリッヒ美術館で開催されるピカソ展に貸し
出されるために、本展覧会では展示されません。
貸し出し先の展覧会は、1932年にピカソ自身が作
品を選んで開催した展覧会を再現しようという企
画だそうです。こうした展覧会に愛知県美術館の
作品が貸し出されること自体が、コレクションの
質の高さを物語っているのではないのでしょうか。

より素晴らしい美術館を目指して

.....
これまでに愛知県美術館は、多くの個人、団体



エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー《グラスのある静物》1912年

や企業の方々からたくさんの作品を寄贈いただ
いています。あらゆる形で美術館を支えてくださ
っている方たちがいることに改めて気付くことが
でき、驚きと畏敬の念を抱きます。今回の所蔵作
品展が盛大に開催されるまでに、苦闘の連続であ
つたらうと蒐集活動に思いを巡らせてご覧にな
れば、いっそう感慨深いものになることではな
いでしょうか。

現在はどのような蒐集活動が行われているかも
気になります。今の愛知県美術館が抱える課題に
もつながりますが、時代の変化により景気も変わ
り、以前は高価な作品も必要ならば購入できたそ
うですが、現在ではとても厳しい状況にあるよう
です。さらにコレクションを充実させていくため
には美術館の方々の苦闘があるとは思いますが、
これからも美術館に優れた作品を求めながら、応
援していきたいと思えます。

古田美術課長にお話を伺う中で、「愛知県美術
館はこんなにすごいんだよ」「愛知美術館のエッ
センスが見られる展覧会にしたい」と言われてい
たのが印象的でした。どんなエッセンスがつま
っているんだろう？と、とても楽しみです。いつも
は館内の半分でしか展示できない"所蔵作品展"
が全展示室を用いてご覧いただけます。『美の精
髄 愛知県美術館の名品300』は、愛知県美術館
を知る絶好のチャンス。ぜひ足をお運びください。

(大矢真美代)

この記事は本展覧会を担当される古田美術課長
へのインタビューを参考に構成しました。

会員のひろば

バス旅行（他館鑑賞会・昼食会・寺院めぐり）

九州国立博物館に関わる諸団体の訪問/シンポジウム参加

バス旅行（かわら美術館...昼食会...藤井達吉現代美術館...寺院めぐり）

4月10日、友の会初めてのバス旅行を開催。定員オーバーで受付をストップするほどでした。

先ず高浜市のかわら美術館で瓦の解説を聞き、碧南市の大正元年創業の鰻料理の老舗で昼食。碧南市藤井達吉現代美術館に入ると、開館以来の入館者十万人目が、何と幸運にも会員の丹阿弥彰子さんでした。美術館では「新収蔵品展」を木本館長の解説で楽しみました。



藤井達吉現代美術館の前で

九州国立博物館に関わる諸団体の訪問

6月11日に九州国立博物館の活動を支援する諸団体の方々が27名来館。交流会では会の活動や運営等について意見交換し、ボランティア活動を見学されました。県美友の会の組織や講座等の運営、美術館から自立していることや、ボランティア活動が充実して進められていることにとても感心されていました。



友の会の活動などを説明する

（副会長 竹内清美）

この大浜地区は古い寺院の集まる「てらまち」で、土生学芸員の説明を聞きながら寺巡りをしました。初めてのバス旅行は盛会裡に春の一日を無事終了しました。（宮崎玲子）



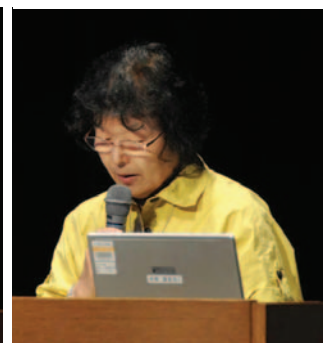
木本館長による解説



寺院めぐり

九州国立博物館シンポジウム参加

8月21、22日に九州国立博物館で行われたシンポジウム「市民と共にミュージアムIPM（薬物に頼らない有害生物被害対策）」に古田美術課長と友の会から伊藤淳子さん（写真左）と2人出席し、活動の発表をしました。所蔵品管理サポート部会として6年ほど続けてきた活動が市民参加のIPMとして評価されたようです。



シンポジウム（所蔵品管理サポート部会班長 武藤和子）にて発表

講座ダイジェスト

記念講演会『渡辺崋山の絵画と生涯』鈴木利昌氏 講座『現代の表現 社会の中での試み』天野一夫氏

記念講演会 『渡辺崋山の絵画と生涯』

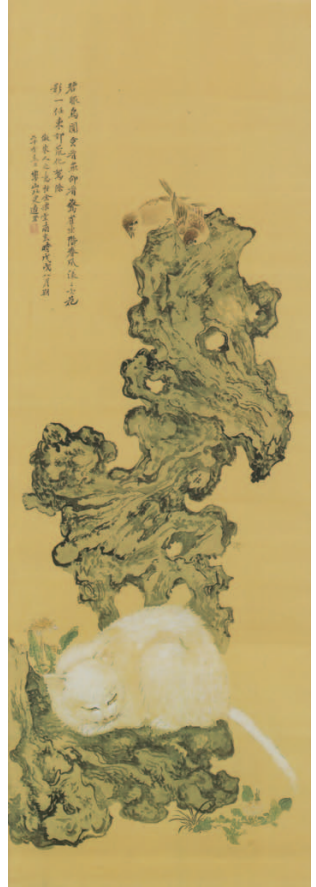
6月27日、崋山研究の第一線で活躍されている田原市博物館学芸員・鈴木利昌氏の講演会が開かれた。



崋山は5年ごとに人生の目標を掲げ、修養に努めていた。40歳で家老に就任し、田原藩に尽した。「12歳の時、大名行列に当たり、無礼のかどで乱暴を受けた。その時、学者になり、殿様と対等に話せるようになりたいと発奮し、勉学に励んだ。」と書いている。朱子学、陽明学を究め、蘭学の研究に進み当時を代表する蘭学者となった。47歳で蛮社の獄により蟄居を命ぜられ、藩に迷惑がかからぬよう49歳の時、自刃した。明治24年には功臣として正四位を贈られている。幼少から絵も学び、17歳で谷文晁に師事。中国画、西洋画も学ぶが、36歳の時に「模写をして技巧を高めたいが、生活のために絵を

描かねばならない」と嘆いてもいる。

陰影技法を取り入れた国宝《鷹見泉石像》で有名だが、《湖石白猫図》では、白猫は清、猫を見下ろす雀は海外列強であるイギリスかロシア、その先にあるタンポポは日本を示すというように、隠喩画や、優れた文人画も描いている。特に肖像画は、侍としての気迫と依頼者への尊敬をこめた内面描写に重きをおいた厳しさが感じられ、当時を代表する肖像画家である。



(平松章子) 渡辺崋山《湖石白猫図》1838年

講座 『現代の表現 社会の中での試み』



7月24日、天野一夫氏（豊田市美術館：チーフキュレーター）をお迎えし、3つの国際展（横浜・越後妻有・ヴェネツィアで開かれたトリエンナーレ）の

スライド解説を通し「現代の美術」について講演していただきました。
「美術」という言葉に惑わされますが、芸術には（現代の）問題を提起する力があります。同時代の作家が感じていることの、表現としての作品は、言語化できない、様々な問いを発し

ているのです。その問いの答えは一つではありません。さらに作家の考えが必ずしも正解や最終の到達点ではなく、作品はひとり歩きし、その答えは観ている側にゆだねられています。時には作品からショックをうけ、読み解き、考え、印象や考えたことを語り合うこと。これが現代美術を鑑賞する楽しみです。

作品との会話を成立させるために天野氏よりいただいたヒントは、作品がおかれた空間、その作品を選んだキュレーターの意図を考え、印象や社会性を読みこむことです。

さあ、部屋から出て実際に作品を観て楽しみましょう！（松下智子）

愛知県美術館コレクションから 深く知ると、もっとみえてくる カンディンスキー 《鏡》

(編)ここでご紹介する所蔵作品《鏡》を、本会報表紙に掲載しました。

カンディンスキー(1866-1944)は抽象絵画の創始者の一人として20世紀の美術に大きな足跡を残した画家です。名前からも想像できるようにロシアの生まれで、30歳近くまで美術とはほとんど無縁の生活をしていましたが、ミュンヘンに出たから本格的に絵の勉強をし始めました。カンディンスキーは画家として知られていますが、生涯に200点(絵柄が200種類あるということ)ほどの版画も制作しています。カンディンスキーが版画を始めたのは1902年で、この年にガブリエーレ・ムンターと知り合っています。40数年にわたるカンディンスキーの画歴の中で、版画は初期の10年少々期間に集中して制作されました。1913-14年にエッチングを制作する以前の版画はほとんどが木版画で、ハンス・レーテルという著名な研究者が木版画の中で「最高傑作の一つに数えられる」という《鏡》も本来は木版画ですが、愛知県美術館が所蔵しているヴァージョンはリノリウム版から刷られたものです。

画面には左手に鏡を持つ貴婦人が大きく表されています。かぶりものは祝祭日のもので、そこから出る白いヴェールのようなものは背中から右腰にまわり、右手前腕部をからめて右手でつかま



て下に垂れています。そこには水が流れているような文様が描かれており、その文様には、ユージェントシュティールと呼ばれるこの時代の様式のひとつの典型が見られます。画面右下の部分を見ると、彼女は花咲く平らな草原に立っており、草原の先には緑の木々で覆われた山々、その先には雪を頂く険しい山々がそびえていることがわかります。

《鏡》1907年 空に浮かぶ不規則な鱗の

ような雲の一部が、その険しい山にかかっていることからそれらが非常に高い山だと想像できます。この時代のカンディンスキーの版画の大きな特徴のひとつは、輪郭線を描かないということです。ここに表された女



《花嫁》1903年

性の下半身がどこまであるのでしょうか。スカートの花模様は草原の花と同化しているので、靴の存在と草の有無によってこの版画を見る人に頭の中で境界を認識させるような表現法をとっています。

レーテルはこの版画のテーマはアンデルセンの『雪の女王』に由来すると考えましたが、カンディンスキーのほとんどの初期版画と同様に、特定の物語を描写したものではないでしょう。良く見ると貴婦人の持つ手鏡に映っているのは、雲と、雪を頂く山と、草原です。鏡に映っているわけですから、常識的には我々の背後にこのような風景画あるのだと考えるのが普通でしょうが、画面右下の山岳風景をそのまま鏡の中に映しているともできるでしょう。だとするとこの女性は世界を手中に収める女神という解釈もできそうです。

(美術課長 古田浩俊)

来年の2月から始まる「カンディンスキーと青騎士」展には、《鏡》とほぼ同時代に描かれた初期の油彩画が何点か出品されます。

学芸員の横顔

古田浩俊(ふるた・ひろとし)
愛知県美術館美術課長
松本市生まれ。開館の前年の1991年に採用される。現在、開館20周年の企画展を準備中。趣味の武道で週4日は袴姿に変身する。



愛知県美術館より

アートカードを知っていますか？ 新学芸員の紹介

美術作品にふれることができるのは、なにも美術館の展示室の中だけにかぎった話ではありません。展覧会のカタログや画集などに印刷された図版に見入ったり、講演会で映し出されるスライドを眺めたりすることもあります。最近では、インターネットで検索して、という人も多いかもしれません。しかし、いくつかの作品を横に並べて比べながら見てみたり、それについて仲間同士で話したりする機会は、意外と少ないかもしれません。

そんなときには「アートカード」を利用すると、いつもとは違った作品鑑賞を楽しむことができます。「アートカード」とは、トランプ二枚分ほどの大きさのカードに作品の画像が印刷されたものです。一人の画家を取り上げた画集などとは違って、カードには中世から現代まで、古今東西のさまざまな作品が含まれています。そのため、次にどんなカードが現れるのかわからないので、めくっているだけでも楽しいものです。

ほかにもいろいろな使い方があります。たとえば、数人で集まってトランプの「七並べ」のようにして遊ぶゲーム。作品の特徴、作者の時代や動向などの共通点を見つけて、隣り合うように順番にカードを並べていきます。ばらばらのカードの中から共通点を見つけようとすみからすみまで作

品を見るので、普段は気づくことのない発見がいくつもあるかもしれません。

そしてもちろん、このカー



来春から市販される
独立行政法人国立美術館制作のアートカード

ドは作品の前でも使うことができます。展示室の中にお気に入りの作品のカードを持ち込んで、展示作品と自由に見比べてみたり、また逆に、よく知らなかった作品のカードを手にしながらかし室の作品を鑑賞すると、理解を深めることができるかもしれません。（学芸員 塩津青夏）

新学芸員の紹介

はじめまして。塩津青夏（しおつ・せいか）です。今年度より、愛知県美術館学芸員として勤務しています。専門は戦後のアメリカを中心とする近現代美術で、現在は主に展覧会の準備や教育普及活動に携わっています。

出身は鹿児島、趣味の剣道は三段。

よろしくお願いします。



愛知県美術館友の会は、団体も入会していただくことができます。現在ご入会いただいている団体は、名古屋芸術大学、株式会社MARUWAの2団体です。ご協力ありがとうございます。



名古屋芸術大学
大学院音楽研究科/音楽学部/人間発達学部
〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地
TEL(0568)24-0315 FAX(0568)24-0317
大学院美術研究科/美術学部
〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西沼65番地
TEL(0568)24-0325 FAX(0568)24-0326
大学院デザイン研究科/デザイン学部
〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西沼65番地
TEL(0568)24-0325 FAX(0568)24-0326

**NAGOYA
UNIVERSITY
OF ARTS**



ceramics innovation
MARUWA

株式会社MARUWA
〒488-0044 愛知県尾張旭市南本地ヶ原町三丁目83番地
TEL (0561) 51-0841
<http://www.maruwa-g.com>

株式会社MARUWA SHOMEI
〒110-0015 東京都台東区東上野一丁目1番12号栗橋ビル
TEL (03) 5812-0870
<http://www.maruwa-shomei.com>

株式会社MARUWA QUARTZ
〒963-7704 福島県田村郡三春町大字熊耳字大平7-1
TEL (0247) 62-0012
<http://www.maruwa-g.com>



AICHI
PREFECTURAL
MUSEUM
OF
ART

MEMBERSHIP

理事会から

総会を開催しました

6月27日、2010年度の通常総会が開かれ、決算案、予算案等を審議し、いずれも承認ないし可決されました。以下にその概要を示します。

昨年度の事業報告・収支決算に関して

* 特別鑑賞会への参加が増え、好評であった。
* 所蔵管理サポート部と九州博物館環境ボランティアとの交流が生まれた。(別紙面参照)

* 会員減による収入減から、美術館支援費及び資料発送回数を削減し支出を抑えた。

今年度の事業計画・予算案に関して

* 会員の減少により予算の見直しが必要になった。
* イベントではバス見学旅行が好評であった。今後も企画を検討する。

* 企画展が少ないため事業支援を減少させる。

* 会員証の材質を紙にして経費を削減する。

* あいちトリエンナーレ2010の開催に先立ち、

7月24日に現代美術の講演会を設定し、会員の興味関心を高める。

* 残業を減らし人件費の削減をはかる。

以上

会員減の続く昨今ですが、誇るべき愛知県美術館友の会の一員として、また美術館を愛するファンとして、できるだけ多く足を運び、素晴らしい作品にふれつつ、美術館を支えていただきたいと願っています。
(広報担当理事 小林克敏)

友の会活動紹介

「小川芋銭と珊瑚会の画家たち」

4月 特別鑑賞会(昼・夜)
4月 バス旅行(他館鑑賞・昼食会・寺院めぐり)

「渡辺華山展」

6月 特別鑑賞会(昼・夜)
6月 記念講演会 渡辺華山の絵画と生涯(鈴木氏)(美術館と共催)
6月 九州国立博物館に關わる諸団体の訪問
7月 講座 現代の表現 社内の中での試み(天野一夫氏)

「あいちトリエンナーレ2010」

8月 九州博物館シンポジウム参加
9月 特別鑑賞会(名古屋美術館協力会と合同/午前・午後)
9月 他館鑑賞会(ヤマザキマザック美術館)

定例活動

美術館モニター のべ3回
所蔵作品管理 のべ13回
所蔵作品...台帳作成補助
木村コレクション...風呂敷洗濯・補修手入
洗濯...さらし・白手袋・軍手
備品...白絹で包装・枕・座布団・紐の製作
道具入れ・針山の製作
発送 のべ3回
受付 のべ5回
会報発行 第31号発行
ホームページ 随時更新
中面で紹介 裏面で紹介



特別鑑賞会

渡辺華山展及び関連所蔵作品展「和魂洋眼」を鑑賞。馬淵学芸員の解説と共に、華山の才能と苦難の最期に思いを巡らし、次室からは絵画史が分かりやすく展示されて面白く、大変好評でした。

特別鑑賞会

今回制作過程や作家の意図を知ること、現代アートに対し理解が深まったように思います。市美でもゆっくり鑑賞でき、両館に多くの方が訪れていて、トリエンナーレの盛り上がりを実感しました。(澁谷三千代)



他館鑑賞会

ヤマザキマザック美術館は、期待通り、沢山の素晴らしい作品に囲まれて、優雅な一時を過ごさせていただきました。気軽にスニーカーで参加したので、ちょっと後悔しています。この次は、ふさわしい装いで出かけます。(岩田圭子)

これからの企画展のご案内

美の精髓 愛知県美術館の名品300

11月26日(金) 2011年1月23日(日)

関連事業:「学芸員おすすめの一点」(展示作品説明会)

13名の学芸員がそれぞれおすすめの一点をご紹介します。

レンバウハウス美術館所蔵
カンディンスキーと青騎士展

2011年2月15日(火) 4月17日(日)

友の会入会のご案内

友の会の詳しい活動内容を知りたい方、入会をご希望の方は、下記までお問合せ下さい。

10階愛知県美術館受付

友の会事務局(火・木・金・土 10:00-16:00)

052-971-5511(代) 内線347

tomonokai@aac.pref.aichi.jp

編集後記

友の会活動のイベントにバス旅行が加わり、サポートもより深化し美術館との協力体制もバッチリ。編集部は、これらの活動をできるだけ多く、会員参加で紹介していきたいと思っております。原稿をお願いする際は、是非ご協力ください。(水野愛子)

□編集 小林 克敏/水野 愛子/大矢 真美代/
平松 章子/松下 智子/宮崎 玲子/森 健次

□協力 愛知県美術館

□発行 2010年10月

愛知県美術館友の会

〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目13-2

愛知芸術文化センター内

TEL: 052-971-5511(代)内線347

FAX: 052-971-5617

E-mail: tomonokai@aac.pref.aichi.jp

美術館ウェブサイト: http://www-art.aac.pref.aichi.jp